

## 別記様式

## 議 事 録

会議の名称	令和5年度第4回岩倉市行政評価委員会
開催日時	令和5年10月24日(火) 午前9時から午前11時50分まで
開催場所	市役所7階 大会議室
出席者 (欠席委員・説明者)	出席委員：千頭委員(委員長)、小松委員(副委員長)、川中委員、 宇佐美委員、村上委員、三輪委員、吉田委員、万年委員 欠席委員：松浦委員、水野委員 施策担当課：隅田環境保全課長、今枝環境グループ長、竹安廃棄物グループ長、 小松協働安全課長、水野防災安全グループ長、須藤市民協働グループ長、 竹井商工農政課長、夫馬商工観光グループ長、田中維持管理課長、秋田秘書企画課長 事務局：中村総務部長、秋田秘書企画課長、宇佐見企画政策グループ長、中山主任
会議の議題	(1) 第5次総合計画の進捗の評価について (2) その他
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他( )
会議に提出された資料の名称	参考：単位施策の評価基準表
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0人
その他の事項	議事録作成者 中山

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 開会

委員長からあいさつ

2 議事

（1）第5次総合計画の進捗の評価について

【基本施策 21・基本成果指標・単位施策（1）】について施策担当課から説明

委員：単位施策の成果指標「指標生物に基づく水質階級」について、指標となる生物とはどんなものか。

施策担当課：指標生物はミズムシ、ミズカマキリ、ゲンジボタルなど水質階級に応じて数十種類が決められている。

委員長：基本成果指標「五条川などの水辺に親しみを感じる市民の割合」について、回答のあった市民の属性（年齢、居住地域、居住歴等）は分析しているか。

施策担当課：イベント自体は様々な事業を幅広い年齢層を対象として実施している。令和4年よりイベントを再開したものの、内容については、コロナ禍以前に比べ、密にならないようにするなど抑え気味にしたので、結果的に令和元年よりも数値が下がったと考えている。今後は状況を見ながらコロナ禍以前の内容に戻したり、さらに充実させていくなど検討していきたい。

委員長：指標を得るためのアンケート結果から、どのような属性の人が親しみを感じていないのかが分かる。そうすればそこに対するアプローチ方法も検討できるため、分析してみるとよいと思う。

委員長：では評価をしていきたい。挙手をお願いしたい。…B評価が8名

委員長：B評価とする。

【基本施策 21・単位施策（2）】について施策担当課から説明

委員：ジンダイアケボノという種に植え替えるのは何故か。

施策担当課：現在の桜並木を構成するソメイヨシノは病気に弱い品種。ジンダイアケボノは日本花の会がソメイヨシノの後継木として推奨している。

委員：開花時期は同様か。

施策担当課：少し早く、花びらの色も濃い。

委員：成果指標の目標値である1,200本が適正管理本数ということか。

施策担当課：桜と桜の適正間隔は8～10mといわれており、市内の五条川沿いの距離をその基準に当てはめるとおおよそ1,200本程度となっている。なお、全てを植え替えるというものではなく、ひこばえの育成にも力を入れている。

委員長：では評価をしていきたい。挙手をお願いしたい。…B評価が8名

委員長：B評価とする。

【基本施策 23・基本成果指標・単位施策（1）】について施策担当課から説明

委員：基本成果指標「公害の防止対策に満足している市民の割合」について、近年の苦情件数の推移を伺いたい。

施策担当課：令和4年度は典型7公害（大気汚染、騒音など）で29件。令和3年度は46件なので少し下がったという状況。

委員：単位施策成果指標「環境基本計画における事業の評価平均点」について、評価点が担当課の自己評価なのは妥当なのか。

施策担当課：担当課の自己評価だけではなく、その結果を年に2～3回、環境審議会にて審議し、ご意見をいただいたものを担当課へフィードバックしている。

委員長：では評価をしていきたい。挙手をお願いしたい。…A評価が1名、B評価が7名

委員長：B評価が多数であるため全体としてB評価としてよろしいか。

委員一同：了

委員長：B評価とする。

【基本施策23・単位施策（2）】について施策担当課から説明

副委員長：緑のカーテンの設置が電気使用量に与える影響など客観的な評価はしているか。

施策担当課：していない。意識啓発を目的に実施しているもの。

副委員長：効果を考えると疑問もある。脱炭素社会の実現に向けて、抜本的な対策が求められる段階に来ていると思う。

施策担当課：低炭素社会の実現に向けては段階があると考えている。効果という側面では住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金があり、緑のカーテンのような意識啓発事業と一体的に実施していくことが重要と考えている。

委員長：意識啓発はもちろん必要だが、今はやれることをやればいい時代は終わり、やらなければならないことをやるさらに厳しい段階である。岩倉市は今年、ゼロカーボンシティ表明を行っており、来年度は何が変わったのかを問われることになるため、今年以上に踏み込んだ自己評価も必要と思う。

委員：今後の方向性にある「電気自動車等充電設備（V2H）」とはどのようなものか。

施策担当課：家庭や市内事業所で電気自動車を充電する機械設備のこと。今年度から補助制度を開始している。

委員：集合住宅は対象か。

施策担当課：集合住宅は対象外。今後、市内の公共施設に充電設備を設置予定であるため、設備のない方は、そういうところも利用いただきたいと考えている。

委員：私自身も集合住宅に住んでおり、設備が無いので電気自動車を導入できない。岩倉市の場合集合住宅も多く、同じように考える人も多いと思うので、ぜひ強化いただきたい。

委員長：電気自動車から電気を取り出す機器の導入補助はあるか。

施策担当課：ない。

委員長：では評価をしていきたい。挙手をお願いしたい。…B評価が8名

委員長：B評価とする。

【基本施策23・単位施策（3）】について施策担当課から説明

委員：自然生態園のイベント参加者について新規、リピーターの比率はどのようか。

施策担当課：内容にもよるが幅広い層にご参加いただいている。

施策担当課：園自体がコンパクトで個性的なイベントを開催しており、市外からの参加も多い。

委員：五条川におけるアカミミガメの駆除活動について、今年の活動において、これまでの結果と異なることはあるか。

施策担当課：例年1回の調査で100匹程度のところ今年は50匹前後。数についてはその時の水量など環境面の影響もあるが、もしかしたら今までの活動の成果が現れてきているのかもしれない。

委員長：では評価をしていきたい。挙手をお願いしたい。…A評価3名、B評価が5名

委員長、委員2名：取組が充実しており、頑張っていると思いA評価とした。

委員長：では、今の評価もコメントに記載しながら今後を応援する意味も含めて全体としてはB評価としてよろしいか。

委員一同：了。

委員長：B評価とする。

【基本施策23・単位施策(4)】について施策担当課から説明

委員：川井・野寄工業団地等、市内への進出企業に対し、アダプトプログラムなど環境活動への申し入れを行っているか。

施策担当課：環境活動への協力勧奨の他、今後は協定を締結し、様々な環境政策へ協力いただくことも検討している。

副委員長：単位施策成果指標「待合橋地点のBOD値」について上昇理由はどのようか。

施策担当課：分析まではできていない。

委員長：計測は年単位で何回行っているのか。

施策担当課：2回。

委員長：雨など天候の影響もあるので少ない回数で評価するのは厳しい。

施策担当課：今回の上昇理由としても、前日に雨が降り、川に多くの水が流れ込み濁っていた影響もあるかもしれない。

委員：アピタ3階駐車場について、鳥の糞がすごい。対策に関する要望は出ているか。

施策担当課：過去、駅前のムクドリの苦情はあったが、アピタは聞いていない。対策といっても木を切る訳にもいかないの見守るしかなく、効果的な対策は難しい。

委員：住んでいる集合住宅でも鳩の被害がある。これを住民だけで対応できるか不安であるため、そういった思いがあることを行政側に覚えておいていただきたい。

施策担当課：集合住宅であれば管理会社に相談して改善した例もある。

副委員長：五条川の水質や美化について上流側の市町と行っている取組はあるか。

施策担当課：3市2町で連絡協議会を組織し水質検査の結果を共有している。

委員長：では評価をしていきたい。挙手をお願いしたい。…B評価1名、C評価が7名

副委員長：多少BOD数値の減少はあるが、良好な範囲であるため問題ないと思いB評価とした。

委員長：全体としてC評価としてよろしいか。

委員一同：了。

委員長：C評価とする。

【基本施策 24・基本成果指標・単位施策（1）】について施策担当課から説明

委員：単位施策成果指標「ごみの資源化率」の減少について、コロナ禍がどのように影響したのか。

施策担当課：ステイホームで家庭内のごみや資源が増えたものの、コロナ禍が終わり、全体的にごみが減ってきていること。また、原因は不明だが、こども会の資源回収分がコロナ禍以前の水準まで回復していない。

委員長：資源化率の低下はコロナ禍だけが原因ではなく、ごみとなる容器の軽量化や、新聞をとる家庭の減少が要因であると考えており、今後も下がり続けることが予想される。その点では、今後この指標を使い続けることは難しいと思う。

委員：フードドライブの実施回数ほどのようか。

施策担当課：随時ではなく期間を設けて実施しており、現在は1月に年1回実施している。

施策担当課：1月としたのは年末のお歳暮など食品の余りが想定される時期であるため。

委員：石塚硝子においても随時で実施しており、非常に喜ばれ、ごみの削減につながるという印象を持っている。取組が広がると良い。

委員長：外国籍の方に向けた情報発信方法ほどのようか。

施策担当課：ごみの出し方リーフレット及びアプリについて、英語版とポルトガル語版を用意している。

委員長：では評価をしていきたい。挙手をお願いしたい。…B評価4名、C評価が4名

副委員長：資源化率の減少は避けられない側面があり、それ以外の取り組みは進んでいることからB評価とした。

委員：C評価としたが、資源化率は外的要因で仕方がないことも鑑みて、【Ⅲ】と評価したとすると、成果指標全体では【Ⅱ】となるためB評価に変更したい。

委員長：では、B評価が5名、C評価が3名となり、全体としてB評価でよろしいか。

委員一同：了

委員長：B評価とする。

【基本施策 24・単位施策（2）】について施策担当課から説明

委員：不法投棄はどの程度の廃棄物の投棄のことをいうのか。

施策担当課：空き缶1つでも不法投棄といえ、定義は幅広い。成果指標で示した大量の不法投棄とは例えば業者によるものと思いき大量のタイヤなど、我々だけでは対応が難しいようなものを指しており、軽トラックで運べるような箆笥などは含んでいない。

委員：成果指標における不法投棄4件というのは具体的にどのようなものか。

施策担当課：一旦、投棄された物を清掃事務所に集め、一定量が溜まった段階で処分しているが、その1回の運搬を1件としている。

委員：特定の場所に捨てられる傾向があるのか。

施策担当課：既存のごみの集積場所に、そこでは捨てられないものが捨てられていることがよくある。ごみの集積場所は区の管理となるため、区と相談しながら、センサーライトやカメラを付けたりといった対策を講じている。

施策担当課：幹線道路に近いところでは、通行途中で投棄するということもある。

委員：資源ごみの持ち去り対策はどのようなか。

施策担当課：回収日には集積場所を職員で巡回するが、その中で業者と思しき同じ車両に遭遇することがある。警察への相談や情報提供などの対応をしている。

委員：カラス対策をネットから容器に変更した理由はどのようなか。

施策担当課：ネット型の場合ごみを出した後戻さない人がいるが、ボックス型の場合それが少ないため。

委員長：では評価をしていきたい。挙手をお願いしたい。…B評価が8名

委員長：B評価とする。

【基本施策 25・基本成果指標・単位施策（1）】について施策担当課から説明

委員：災害時の食料備蓄について賞味期限がきれそうになった食材はどうしているのか。

施策担当課：防災訓練や防災講話、ふれ愛祭りにて配布している。

施策担当課：賞味期限を管理しており、計画的に更新を行っている。

委員長：名古屋のある大学の学生が賞味期限間近の備蓄食料をおいしく食べるためのレシピを考え、配布していた。よい取組だと思う。

委員：各訓練について、訓練の中で何らかの役割を持っている方の意識は高いが、そうではない一般の住民の意識は低い傾向があると思う。そういった方に対する意識の醸成方法等の指導を自治会等に対して行っているか。

施策担当課：参加されない方への行政からの直接的な指導は行っていない。5校区にて自主防災会合同訓練を実施しており、昔は「見る」訓練が主体であったところ、今はできるだけ「参加者と一緒になった」訓練をしているということをPRしながら、広く市民の方にお越しいただけるような働きかけを行っていただくよう役員の方々へ周知をしている。

委員長：外国籍の方の参加はあるか。

施策担当課：案内の翻訳版を配布している。ただし、実際の訓練の場での説明が難しいので、簡単なピクトグラム等で補いながら、自主防災会との協力のもと、まずは一度見ていただくということを考えている。

委員長：ある自治体の例であるが、普段実施している訓練に、頑張っって地域の外国籍の方を呼んで実施したところ、非常に盛り上がったという話を聞いた。主体となった自治会の会長いわく、訓練をやってみて、外国籍の方の認識が「支援する相手」から「地域の防災を一緒に支えていく仲間」という認識に変わったとのこと。間に立てる日系の方などいると思うので、一度やってみると意識が変わると思う。

委員：ほっと情報メールとはどのようなものか。防災情報の発信についてこれでなければならない理由はあるのか。

施策担当課：防災情報以外にも、子育てやイベント情報などを発信する岩倉市独自のもの。ライン等のSNSでも周知は行っているが、まだスマートフォンを持っていない人もいるため、そのような方々にはメールという手段が有効であると考えている。

委員：障がい者の方の訓練の参加状況はどのようなか。

事務局：地域の防災訓練の中で、要配慮の方への声掛けなども訓練に含まれている。

施策担当課：訓練の場以外でも、個別で障がい者向けの防災講話や防災教室などを開催している。

委員：避難所に障がい者がいた場合を想定した訓練の実施はあるか。

施策担当課：福祉避難所への障がい者の方の移送を想定した訓練を実施している。

委員長：では評価をしていきたい。挙手をお願いしたい。…B評価が8名

委員長：B評価とする。

【基本施策 25・単位施策（2）】について施策担当課から説明

委員長：単位施策成果指標について、行政区別の訓練と講話の実施状況はどのようなか。

施策担当課：行政区によって異なっており、色々な組み合わせがある。

委員：自主防災会について、役割分担のリストはあるものの具体的に何をするのか明確にされていないことがあった。自分が担当したところでは具体的な行動計画を作ったが、リストのみの行政区もあると思うので一度確認した方がいいと思う。

施策担当課：行動計画について、作成しているところとしていないところがあるのは承知している。作成のためのひな形があるので、区長会等にて周知していきたい。

委員長：では評価をしていきたい。挙手をお願いしたい。…B評価が8名

委員長：B評価とする。

【基本施策 25・単位施策（3）】

事務局：再掲の個別施策であるため、次回の第5回行政評価委員会の審議対象である基本施策 17 上下水道単位施策（2）の審議の際に併せて審議したい。

委員長：次回、評価することとする。

【基本施策 27・基本成果指標・単位施策（1）】について施策担当課から説明

委員：犯罪発生率において愛知県内上位の原因はどのようなか。

施策担当課：警察の方から、岩倉は電車や車での交通の便が良いため、犯罪者が逃げやすいのではないかという話を聞いたことがある。特に江南警察署管内では特殊詐欺が多いが、これは交通の便が良いことのほか、駅前に銀行があるためとのことであった。

委員：認知症の方の徘徊は指標中に含まれるのか。

施策担当課：含まれない。

委員長：消費生活センター知名度アップのためどのような取り組みを実施しているか。

施策担当課：日本の方だけでなく、外国籍の方へも周知するため、外国語で作ったマグネット作成し配布した。今後もしいい方法があれば検討したい。

委員長：では評価をしていきたい。挙手をお願いしたい。…B評価が8名

委員長：B評価とする。

【基本施策27・単位施策(2)】について施策担当課から説明

副委員長：防犯灯及び安全安心カメラについて、今後設置機数の増に伴う維持管理費の増が予想される。市としての考え方を伺いたい。

施策担当課：現在はリース分と購入分が混在しており、今後リース契約が切れるため、切れた際の今後の計画を検討する必要がある。管理としては、玉切れ等は区からの通報により対応することもあるが、基本的な管理は市が行う。

委員：街路灯と防犯灯の違いはどのようなか。

施策担当課：商店街の街路灯については、商工会を通じて各発展会の方で管理している。維持管理上の負担がある場合は補助金の交付により支援している。

委員：各街路灯組合に行政から管理費の補助が出ているということか。

施策担当課：新規設置や修繕、撤去について公的な補助を行っている。

委員長：防犯灯のLED化率はどのようなか。

施策担当課：100パーセントである。

委員長：玉切れ等はないということか。

施策担当課：玉切れはあまりないが、リースからまもなく10年となるため、耐用年数的にも切れるものが増える可能性がある。

委員長：では評価をしていきたい。挙手をお願いしたい。…B評価が8名

委員長：B評価とする。

【基本施策27・単位施策(3)】について施策担当課から説明

委員：高齢者の運転免許証自主返納者への支援とはどのようなものか。

施策担当課：免許返納時の1度に限りふれ愛タクシーの無料チケット10枚及び反射材付きの傘を配布している。

委員長：申請の流れはどのようなか。

施策担当課：運転免許証を返納すると、警察から運転免許証に穴を開けられるか、返納に伴う履歴書を受領するため、いずれかを持参いただく。

委員：交通安全教室の参加者のうち高齢者は何名か。

施策担当課：老人クラブ連合会を中心に教室を行っており、62名の参加があった。

委員長：高齢者以外の参加者はどのようなか。

施策担当課：幼稚園児、保育園児、小中学生。

委員：要望であるが、高校生を対象とした自転車の乗り方教室を実施いただきたい。渋滞の間をすり抜けたりなど、運転免許を持っていたらこんな運転はしないだろうというような危ない乗り方をしていることがある。

施策担当課：できることから検討していきたい。

委員長：自転車側からすると車の運転手は、別の車のことは気にしているが、歩道から走ってくる自転車は気にしていないという話も聞く。



施策担当課：防犯ネットワーク会議の委員に岩倉総合高校の教師がおみえになる。防犯面だけでなく交通安全も含めて一緒にできるようなことを検討していきたい。

委員長：運転免許の自主返納の話があったが、いわゆる買い物難民や、移動困難者等は顕在化していないと思ってもよいのか。

施策担当課：移動支援としてふれ愛タクシーが以前のデマンドタクシーより利便性が向上しており、当該サービスの利用もあり、買い物難民や、移動困難といった話はあまり聞かえてこない。

委員長：では評価をしていきたい。挙手をお願いしたい。…C評価が8名

委員長：C評価とする。

【基本施策 27・単位施策（4）】について施策担当課から説明

委員：単位施策の成果指標、改良が必要な主要交差点の安全対策実施割合について、有効な対策の検討に時間を要している理由はどのようなか。

施策担当課：改良が必要な主要交差点とは、令和元年に滋賀県大津市にて発生した児童の列に車が突っ込んだ事故を受けて、未就園児が日常的に集団で利用する交差点を対象に市内9か所を選定したもので、3か所は既に対策済み。歩道内への車の侵入防止のためには横断歩道の開口部の中心に大きなパイプを立てる等の物理的な対策を講じる必要があるが、その場合は当然横断しづらくなるため、その他の利用者にも配慮した有効な対策の検討に時間を要しているもの。今後の方向性として試験的に、柔らかいものや、小さい障害物の設置を検討している。

委員長：3か所はどのような対策を講じたのか。

施策担当課：ガードレールの新規設置など。

委員：カーブミラーの設置基準はどのようなか。

施策担当課：地元の要望によるもの。ただし、それ自体が障害物になるため、最近では無闇には付けられないようにしている。

委員長：改良が必要な主要交差点の安全対策について、障害物を設置することとなった際には、設置目的を明確にし、説明をすれば設置されて困るという意見も少なくなると思う。

委員長：では評価をしていきたい。挙手をお願いしたい。…C評価が8名

委員長：C評価とする。

【基本施策 27・単位施策（5）】について施策担当課から説明

委員：高校生との連携はいいと思う。現在は高校生が被害者にならないための取り組みと思うが、逆に加害者にならないための取り組み等は行っているか。

施策担当課：消費者教育講座を高校生向けに開催した理由としては、成人年齢の引き下げにより、18歳で契約行為が可能となったことを踏まえてのものであり、被害を受ける側と捉えてのものであった。今後は加害者になるという視点を含めて講座のあり方を検討する必要があると思う。

委員長：単位施策の題は「消費者被害対策等の推進」ということであるが、消費生活講座がより良い消費者になるための講座だとすると、単位施策と成果指標とが少し合わない気もするがこの指標で問題ないか。被害を受けそうな方が講座を受講するものでもないと思う。

施策担当課：消費者生活を幅広く捉えたときに、講座内容が部分的に被害というところからずれていくのはあるかもしれない。

委員長：「消費者被害」を前面に出すのであれば、「犯罪」の中で消費者被害に該当するような犯罪発生件数等を指標にしておいた方が良く、逆に作る責任、使う責任等の前向きなテーマを重点とするなら、別のところにこの講座受講数の指標が出てきてもいいかもしれない。検討いただけたらと思う。

委員長：では評価をしていきたい。挙手でお願いしたい。…B評価7名、C評価が1名

委員長：単位施策と取組と指標とがうまく合うといいかなという視点でC評価としたもの。全体としてはB評価が7名であるためB評価とする。

【基本施策 29・基本成果指標・単位施策（1）】について施策担当課から説明

委員長：小中学生平和祈念派遣団について、修学旅行で広島・長崎に行くのとどう違うのか。

施策担当課：平和式典に参加し平和について考える機会とするもの。市民に折っていただいた折り鶴も届けている。

委員：例えば平和の意識醸成のため、ウクライナやロシア等今起こっている実際の戦争の写真展を開催するといったことは可能か。

施策担当課：広島や長崎に係る写真は借りられる手段があるが、ウクライナやロシア等の最新の写真を入手する手段がない。

委員：実際に今起きていることを提示できれば、身近な問題としてより心に刻まれる機会となると思う。

委員長：では評価をしていきたい。挙手でお願いしたい。…B評価が8名

委員長：B評価とする。

【基本施策 29・単位施策（2）】について施策担当課から説明

委員：男女共同参画に関する講座・イベントについて、参加者の男女比はどのようか。

施策担当課：男女共同参画講座の参加者はほとんど女性。男性は1・2人程度。サテライトセミナーは半々程度。

副委員長：個別施策②ジェンダー平等と多様性の理解促進について、意識醸成と啓発とのことであるが、市役所や公共施設など具体的な動きはあるのか。

施策担当課：中学校の制服について、学校教育課が中心となって中学入学を控えた小学生を対象に中学校の制服を考える語り場を開催し、女子生徒のスラックスの選択など来年度から導入する制服を決定した。

委員長：名古屋のある中学校にてSDGsの目標の中で何に取り組めるかのアンケートを行ったところ、「ジェンダー平等の実現」が圧倒的に多かった。年代により認識の違いがある問題であるが、若い世代は当たり前のようによく考へてつある。

委員長：では評価をしていきたい。挙手をお願いしたい。…B評価が7名、C評価1名

委員長：審議会等への女性登用率30.8%を33.0%に上げるという目標は明らかに低い。50%目指せるはずで、激励の意味も込めてC評価とした。全体としてはB評価でよろしいか。

委員一同：了。

委員長：B評価とする。

【基本施策29・単位施策(3)】について施策担当課から説明

委員：現在の外国籍市民の割合はどのようか。

施策担当課：全体で2,900名ほどで比率は6%を超えてきたところ。

委員：毎年増加傾向にあるのか。

施策担当課：比率としては県内で7番目に高い。コロナ禍による帰国等で減少したが、昨年からは増加傾向にあり、今後も増加すると見込んでいる。

委員：国籍としてはどの国が多いのか。

施策担当課：現在40か国ほどの国籍の方が岩倉に住んでおり、以前はブラジルが半数以上であったが今は4割に満たない状況。現在はベトナム国籍の方が増えており、2番目に多い。

委員長：中学生海外派遣事業についてはまだ行きにくい状況であるのか。

施策担当課：学校教育課にて実施している事業であるが、行けない理由としてはまだコロナ禍の影響によるものであると聞いている。

委員長：では評価をしていきたい。挙手をお願いしたい。…B評価が8名

委員長：B評価とする。

(2) その他

次回会議日程 11月8日(水)午後2時から 大会議室